HEPHAIST

2026 年３月 25 日

各　　位

会社名　　ヒーハイスト株式会社
代表者名　　代表取締役社長 尾崎 浩太
（証券コード：6433、東証スタンダード）
問合せ先　　取締役執行役員管理部長 佐々木宏行
（TEL：049-273-7000）

当社特定技能２号社員のインタビュー記事が掲載されました

「公益財団法人東北活性化研究センター」が実施した特定技能外国人への就業継続及び生活・地域定着等に関する調査に対し、当社の「特定技能２号」のベトナム国籍社員のインタビュー内容が掲載されました。

この調査は、東北圏における外国人材の定着と共生のあり方について、制度運用や地域支援の観点から分析を行っており、私達もとても参考になりました。

公表された詳細な内容分析結果等については、公益財団法人東北活性化研究センターのホームページ（https://www.kasseiken.jp/2026/03/12/post-9410/　）で公開されていますのでご参照ください。

本件が、東北圏の外国人材政策の活性化に繋がることを期待し、今後も特定技能外国人が活躍できる環境を作るよう尽力し、協力を続けて参ります。

事例２　家族との未来を見据え、秋田で努力を重ねる

グエン・ヴァン・ザウさん（36歳男性）

出身国　ベトナム
略　歴　2016年、技能実習生として来日し、2021年に実習修了後に帰国。2023年に特定技能1号として、再来日。2025年5月に特定技能2号取得
勤務先　ヒーハイスト株式会社秋田工場（秋田県秋田市）
業務内容　精密部品の加工・組立・検査

日本・東北で働くきっかけ

「日本の生活が好き」と語るザウさん。技能実習を終え一度帰国した後に、現在は秋田市で働いている。
IT の専門学校を卒業後、水産関係の仕事に従事。2011年に結婚し、妻と 6歳の息子がベトナムに暮らしている。
業務の種は「お金を稼ぎたかったから」。2016年に技能実習生として大阪の金属加工会社で実習を開始した。初めての日本では仕事の厳しさに驚き、「仕事をちゃんとやらなければ」と思ったという。5年間の技能実習を終えていったん帰国した後、再び日本で働くため、2023年4月に特定技能1号としてヒーハイスト秋田工場に入社した。ベトナム人が多く働いていると聞き、安心できる会社だと感じた。
「秋田は田舎で暮も多いと聞きましたが、職場は快適なので問題はありません」と語る。

特定技能2号評価試験への挑戦

「できるだけ日本で長い間働きたい」という思いから、特定技能2号評価試験に挑戦した。会社から品質管理検定やビジネスキャリア検定の受験を勧められ、2024年12月の評価試験に向けて 5月から品質管理検定の勉強を始めた。ビジネスキャリア検定については、最初は自費でオンライン講習を受講したが、その後、会社から費用補助を受け、工場長も手続きや準備を支援してくれた。
「日本語は毎日少しずつ勉強しています。難しい言葉や金属加工の知識を覚えるのが大変でした」と振り返る。品質管理検定に合格し、日本語も上達した。10月のビジネスキャリア検定、12月の特定技能2号評価試験も合格した。
「評価試験は難しくて、終わったときは『不合格かもしれない』と思いました。でも合格の連絡を受けたときは本当にうれしくて、その夜は眠れませんでした」と振り返る。

112
東北活性研｜FY2025

第３章

職場での様子

現在は研磨作業を担当している。
「研磨の仕事が好きです。自分で狙い寸法へ仕上げるところが面白いです。今後は品質管理などのメンテナンス作業にも挑戦したいです」と、さらなるスキルアップを目指している。
日本人スタッフとはよく相談し合い、仕事以外でも趣味や遊びに行った場所の話をするなど、良好な関係を築いている。会社から新しい仕事を次々に任され、それに挑戦し続けることで努力を認められ、「頑張っているね」と声をかけてもらえることが励みになっている。

暮らしと日常

会社から徒歩3分の場所にある社宅の一軒家で、ベトナム人3人と共同生活を送っている。
「最初は秋田の雪にびっくりしましたが、今は慣れました」と語る。
食い物は移動スーパーを利用したり、自転車で間のスーパーに行ったりしている。ベトナムの調味料はネットで購入しており、不便は感じていない。大阪での生活に比べると、秋田の方が暮らしやすいという。
「大阪は人間がきつく感じました。コンビニが多くて毎日つい無駄遣いをしてしまいました。秋田は方言が丁寧で優しく、食い物も週一回に済ませられるので節約できます」と話す。
食事は自分で作って食べる方が、バランスが良くて好きだという。外食では「味噌ラーメンが好き」と笑顔で話す。
休日は家族と電話で話したり、友達と食い物に出かけたりしながら、日本語の勉強も続けている。趣味のサッカーは、最近はできていない。
地域の草刈り活動にも参加し、近隣住民と挨拶を交わす。町内会の小正月行事「やまはげ」が聞ってきたときは驚いたという。

将来展望と課題

「日本の生活が好きです。日本人は意識が高く、ルールを守るところが良いと思います」と話す。
秋田で長く働き、将来は家族を呼び寄せたいと考えている。妻も日本に来たいと言っているが、高齢の両親の介護があるため現時点では難しい。
「もし子どもが日本に来たら、日本の生活が快適です」とも語った。

113
東北活性研｜FY2025

東北圏企業・地域へのメッセージ

ザウさんは次のように語った。
「成長機会をもっと与えてほしいです」
「働く環境への配慮も必要です。ルールや注意書きをベトナム語に翻訳してくれると理解が早くなり、コミュニケーションがスムーズになります」
「地域にコンビニが少ないので、あると便利ですね」

企業担当者（飯澤さん）からみたザウさん

ザウさんが「秋田で暮らしたい」と言ってくれるのはとてもうれしいです。
本当に勉強熱心で、会社が通信教育を案内する前から、自分でオンライン講習を申し込んで学んでいました。品質管理検定、ビジネスキャリア検定、評価試験を短期間で次々と受験し、合格している姿には感心しました。
職場では研磨作業を担当し、周りの従業員とコミュニケーションを取りながら真面目に働いています。出勤率も高く、計画的な生産体制の構築に大きく貢献してくれています。
外国人材は真面目にコツコツ働いてくれる人が多いですが、ザウさんはそのお手本です。
将来的にはベトナム人グループのリーダーや主任職登用も検討しています。スキルアップへの意欲が高く、会社としても積極的に支援していきたいです。

参照：公益財団法人東北活性化研究センターホームページ新着情報“東北圏で初の大規模調査　特定技能外国人 301 人の実態を公表 ―就業継続と地域定着の「ねじれ構造」が明らかに―”
https://www.kasseiken.jp/2026/03/12/post-9410/
報告書「外国人材とともに歩み続ける東北圏―特定技能 1 号 300 人調査と 2 号人材・企業の声から読み解く就業継続と生活定着に向けた課題と可能性―」（PDF）**112 頁（実頁 114）～ 114 頁**
https://www.kasseiken.jp/kassecms/wp-content/uploads/2026/03/2025fy-01-00.pdf
（参照日 2026-03-18）

以　上